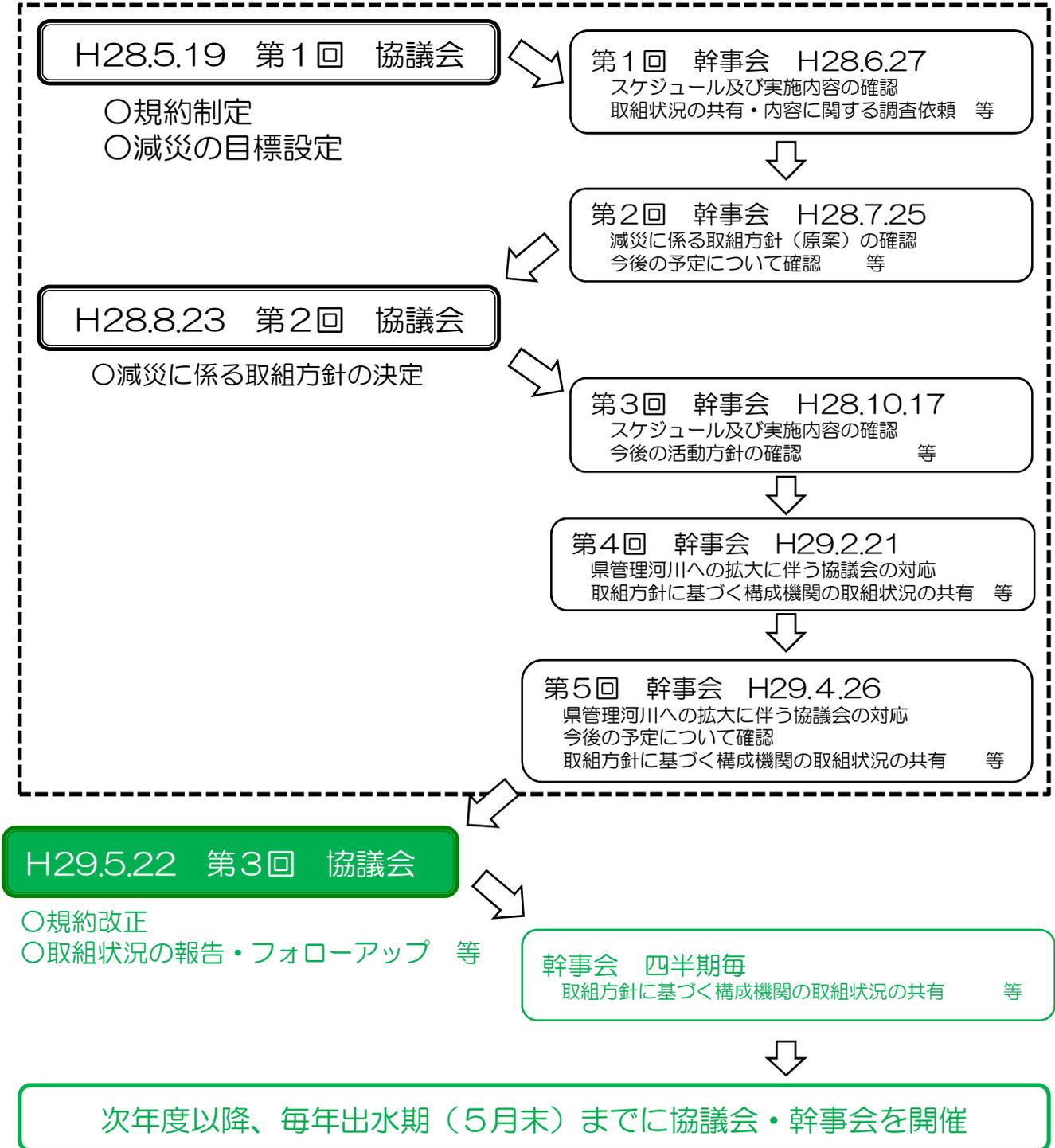


上流

今後の予定(案)



第5回幹事会までの取り組み

平成29年度 ソフト対策の主な取組

危機意識の高揚に向けた啓発活動、情報発信の強化を実施
(「知る」ための取組)

<洪水リスクに関する住民意識調査の実施・公表>

洪水リスクに関する住民意識調査の実施・公表

(1) アンケート実施の背景

- 想定最大規模降雨の洪水に対して、人的被害の回避、被害の最小化、社会基盤の早期復旧を実現するためには、洪水特性・地域特性等に適応したソフト対策の実施が必要不可欠である。
- 今後のソフト対策を推進するにあたり、吉野川流域の浸水区域内の住民を対象として、洪水に対する意識調査を実施するものである。

(2) アンケートの実施概要（案）

	内 容
実 施 時 期	平成29年6月頃配布、3週間程度で回収を予定
実 施 対 象	想定最大規模浸水想定区域
調 査 方 法	各自治体から対象地域の自治会を通じて配布予定
配 布 数	約7,000世帯

(3) アンケート調査項目（案）

	内 容
属 性	性別、年齢、お住まいの地域、水害の経験の有無 など
共 通 設 問	◆避難情報に関する理解度 ◆情報伝達方法の充実度 ◆洪水リスクに関する認知度 ◆避難行動の重要性に関する認識度 ◆水防活動の重要度 など
地 域 別 設 問	◆各自治体の防災に関する取組の『認知度』『重要度』『満足度』 など

洪水リスクに関する住民意識調査の実施・公表

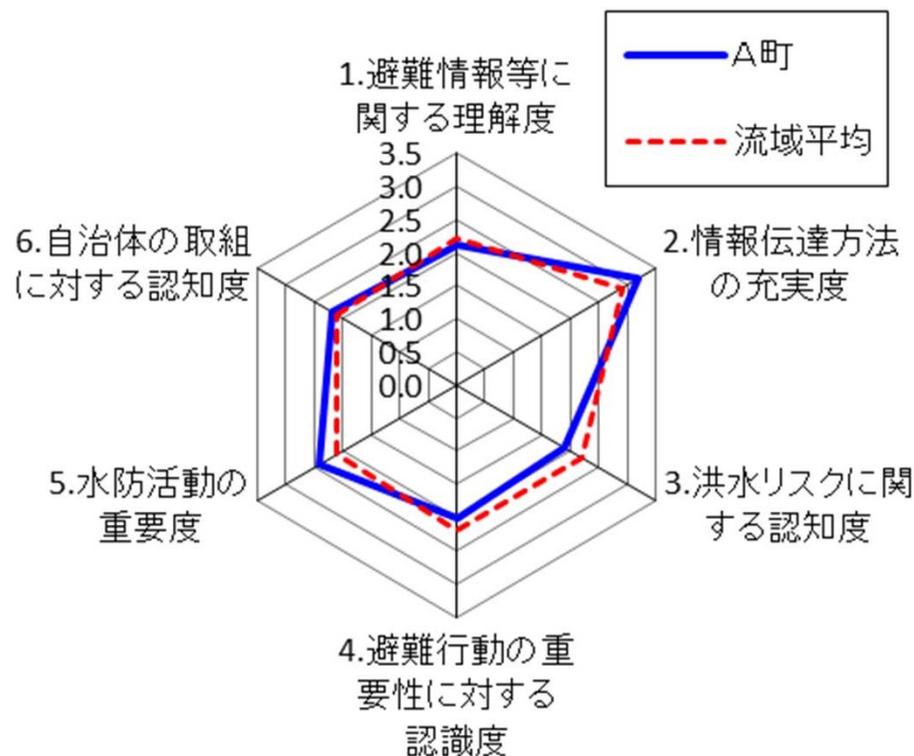
(4) アンケート結果の整理【見える化】及び分析

○アンケートの結果を整理し、下図に示すような【見える化】を行うことで、洪水に対する住民意識の現状や、地域特性等を分析し、今後必要なソフト対策の取組につなげるための参考とする。

1) 各市町単位での結果整理イメージ

・6つの指標により、住民意識の現状や地域特性等について分析する。

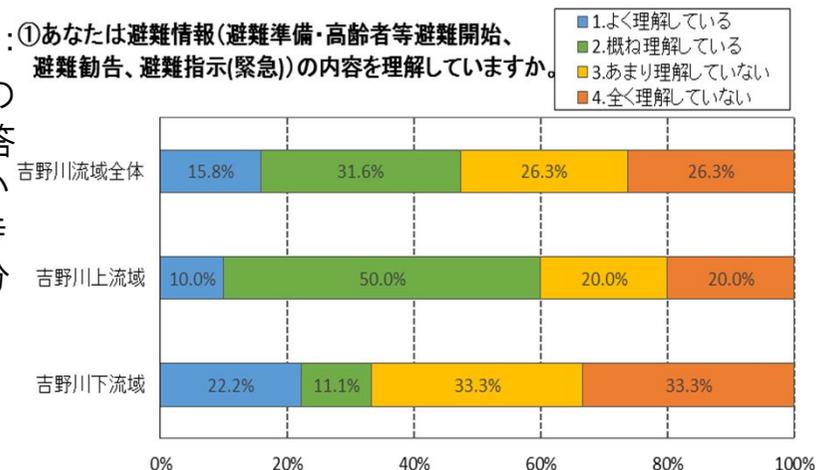
洪水に対する住民意識の現状



2) 流域単位での結果整理イメージ

◆設問例: ①あなたは避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))の内容を理解していますか。

・各設問の選択回答の比率から流域特性等を分析する。



3) 各市町の取組に関する結果整理イメージ

・重要度、満足度の視点から、今後進めていく取組の優先度等について分析する。

